

授業科目  倫理学	区分・教育内容		
	基礎分野 科学的思考の基盤		
授業担当者  大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	15 時間
<b>授業の目的</b> 医療に関係する場面での人間生命の処遇に関する諸問題について考える。			
<b>授業の目標</b> 医療の現場で生じている倫理的問題をいくつか取り上げ、それらを考えるために押さえておくべき論点を整理したうえで、それらにどのように態度を取ればいいのかを共に考察する。			
<b>授業概要</b> 生命工学や医療技術の進歩によりもたらされる倫理的な問題のいくつかについて、看護職者としての倫理原則（自律の尊重など）を念頭に置きながらも、それにとらわれることなく、ひとりの人間として自由に、そして深く考えてもらいたい。 授業は講義と対話（グループ・ディスカッション、クラス全体での討議）を織り交ぜながら進める。授業の集大成として、期末レポート（安楽死について、授業の内容を踏まえて論点を考え、必要事項を調べたうえで、自分の考えを自由に論じる）を作成してもらう。			
<b>授業計画(進め方)</b> 1 回目 授業についての説明／倫理（学）とは何か／骨髄バンクにドナー登録すべきか（1） 2 回目 骨髄バンクにドナー登録すべきか（2） 3 回目 骨髄バンクにドナー登録すべきか（3） 4 回目 （新型）出生前診断と、選択的人工妊娠中絶の是非（1） 5 回目 （新型）出生前診断と、選択的人工妊娠中絶の是非（2） 6 回目 脳死と臓器移植 7 回目 安楽死・幫助自殺（1） 8 回目 安楽死・幫助自殺（2）			
<b>テキスト</b> レジュメと資料を配布する。			
<b>参考書・指定図書</b> 赤林朗編『入門・医療倫理 I』、勁草書房			
<b>評価の方法</b> ・平常点（受講態度、対話への貢献度、授業内レポートの内容（授業内容を理解した上で、自分の考えを展開できているか）など） 80% ・期末レポート 20%			